

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		アプリ児童デイサービス桑名中央		公表日		R 7 年 2 月 21 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	運動系のレクをする際は机や椅子を端に寄せて怪我をしないように配慮している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4	必ずフロア全体を見る担当職員をつけている。	人員不足の為、求人にか力を入れ職員を確保する。職員1人1人のスキルアップを目指す。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4	トイレの前に段差がある為、歩行が不安定な児童には必ず職員が付き添うようにしている。	段差にて怪我のないように十分に気を付ける。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日、室内と送迎車の掃除・消毒を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2		別室はあるが職員が目分散してしまう為、危険度に応じて使用しなければならない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	職員会議の際に行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	検討会議を行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	職員会議の際に話し合いの機会を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		現在は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	職員会議の際に研修を行っている。外部機関の研修にも参加している。		
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	今年度から新しく作成された為、共有できている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	面談の際に保護者様と話し合っ決めている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	職員間で話し合っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	職員間で話し合っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	決められたアセスメントを使用している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	面談の際、保護者と相談しながら設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	日々のレクや製作等を職員で分担し作成している。		

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	活動が偏らないようにしている。 新しいレクや製作を考え提供している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	その児童に合った個別活動と集団活動を組み合わせ作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	送迎前にミーティングを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	その日の反省点等を話し合い、翌日の支援方法に活かしている。	パートの方は先に帰ってしまうこともあり、全員で振り返りは難しい為翌日のミーティング時や職員会議の際に行うようにする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	経過表、連絡帳の記入を毎日行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的に行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	4つの基本活動を組み合わせて活動を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	選択できる物や事柄を取り入れるようにしている。子供同士の話し合いも推奨している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	必要に応じて学校と連絡を取り合っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	必要に応じて学校と連絡を取り合っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	必要に応じて連絡を取り合っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	必要に応じて連絡を取り合っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	必要に応じて研修を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		今まで機会がなかった為、今後視野に入れていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5		参加したことがない為、今後視野に入れていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時、面談時に状況をお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		助言は行っているが、必要に応じてペアレントトレーニングにも対応できるようにしていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		支援プログラムについては保護者によってはまだお伝え出来ない方もいらっしゃる為、面談時にお伝えする。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	面談時に保護者様の意向を確認している。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	面談時に必ず確認している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	日頃から相談しやすい雰囲気作りをしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		父母の会、保護者会等はなく、交流の場がない為今後視野に入れていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	その日に対応するよう心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	4	各施設でSNS等を活用することは難しいが、HPで会社全体の活動は発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	名前や生年月日等はフロアに掲示しない等気を付けている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	保護者の方に合わせて対応できるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		地域の方を施設に招待したことはない為、今後視野に入れていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	会社のスケジュールに沿って定期的に行っている。	マニュアル類、訓練について周知がされていない為、面談の際に保護者に伝える。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	会社のスケジュールに沿って定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	面談時に必ず確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アレルギー表を作成し、職員間で共有している。	現在アレルギーのある児童はいないが、今後必要に応じて対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	必ず行うようにしている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		まだ周知できていない保護者もいる為、面談時にお伝えする。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	同じヒヤリハットや事故を起こさないよう、職員間で話し合いをしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止委員会、研修を定期的に行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	現在該当者はいないが、今後該当者が出てきた際は保護者様と相談し、了解を得た上で記載する。		